

■藤原伊周 公卿。藤原道長と政権争うも、女性問題で花山上皇を威嚇したことから、敗北への道を歩む。
ふじわらのこれちか
尾張国守罷免 974＝ 攝政関白藤原兼家の長男道隆と高階貴子の間に生まれる。同腹の弟妹に、藤原定子・藤原隆家ら。

・ ・ ・ ・ ・ 983＝ 9歳：

往生要集・ ・ 985＝11歳： 元服し、従五位下。
花山天皇出家 986＝12歳： 一条天皇の即位式の日に昇殿し、ついで侍従・左兵衛佐に任ず。
・ ・ ・ ・ ・ 987＝13歳： 左少将、
尾張百姓訴え 988＝14歳： 禁色を聴される。

藤原定子入内 990＝16歳： 父道隆が摂政に就任し、中宮に同母妹定子が立つと、地位は飛躍的に上昇。右中将・藏人頭を経験し、
女院号始・ ・ 991＝17歳： *参議となって公卿に列し、従三位・権中納言に昇叙、
・ ・ ・ ・ ・ 992＝18歳： 正三位権大納言に進む。
・ ・ ・ ・ ・ 994＝20歳： *8歳年上の叔父道長ら三人の先任者を飛び越えて内大臣に昇進。道隆による強引な子息の官位引き上げは、

疫病大流行・ 995＝21歳： 重病に陥った父道隆が強く押して伊周の内覧宣旨に成功するも、死去するや、激しい闘争の挙句、道長に
内覧宣旨が下り、両者の争いは白熱化の一途を辿った。二人は伎座にて激しく口論、罵声が外まで聞こえて
一座は恐れをなし、伊周の同母弟・隆家の従者が道長の従者と都の大路にて乱闘し、道長の隨身秦久忠が隆
家方に殺害される事態に発展。同じ頃、道隆家の外戚高階成忠が道長を呪詛している噂も流れた。

花山法皇事件 996＝22歳： *いわゆる長徳の変は、藤原為光の四女に通う花山法皇を、わが思い人為光三女目当てと誤解した伊周が弟
隆家と謀って道すがら待ち伏せ、彼らの従者が放った矢が法皇の袖を突き通した一件に発端し、道長の素早
い反応で兄弟そろって左遷され、朝廷宣旨で搜索された中宮定子は屈辱に耐えられず自ら落飾、母貴子は病
の床に就き薨去。定子に一条天皇第一皇女脩子内親王が出生し、帝が定子入内を強く望む一方、東三条女院
の病氣も一向に快方に向かわず、

・ ・ ・ ・ ・ 997＝23歳： 朝廷は遂に伊周・隆家兄弟の罪科を赦し、帰洛。
藤原彰子入内 999＝25歳： 定子に第一皇子敦康親王が誕生し、伊周は一家再興の望みをかけて狂喜したが、奇しくも同じ日、道長長
女彰子に女御の宣旨が下り、道長は藤原行成をして女院・一条天皇に働きかけ、

二后並立・ ・ 1000＝26歳： 彰子を立后させ、前代未聞の一帝二后が現出。心労に苛まれた定子は第二皇女出産後崩御。伊周は妹の亡
骸を抱き、声も惜しまず慟哭したという。

枕草子完成・ 1001＝27歳： 重病に悩まされた東三条院詮子は、一条天皇に甥伊周を本位(正三位)に復すよう促し、
・ ・ ・ ・ ・ 1003＝29歳： 従二位に叙せられ、
・ ・ ・ ・ ・ 1005＝31歳： *正式に座次を大臣の下・大納言の上と定められ、改めて昇殿を聴され、朝議に参加したが、

源氏物語始・ 1008＝34歳： *彰子から一条天皇の第二皇子敦成親王が誕生したことが致命的な打撃となって、
・ ・ ・ ・ ・ 1009＝35歳： 正二位となるも、中宮と新生の皇子に対する呪詛事件が起き、叔母高階光子が入獄させられ、朝参を止めら
れたが、すぐに一件落着して、朝参を聴され、また帯剣の殊遇も得たが、

・ ・ ・ ・ ・ 1010＝36歳： 失意のうちに没した。
漢学に関しては才能随一とみられ、早くから一条天皇に漢籍を進講した。「本朝麗藻」「本朝文粹」「和漢朗詠
集」に多くの漢詩文を残した。